



▲屋内グラウンドでゲームを楽しむ子供たち

北海道で一番うれしかったこと
 5年1組 市嶋宏美
 わたしが北海道に行つて、一番うれしかったことは、友達がたくさんできたことです。月形町に着いて、体育館での交流会や町の中の見学が終わると、わたしたちがとまった「はな工房」の近くにある屋根つきのグラウンドでゲームをしました。手を打った数の人が集まるゲームや生まれた月が同じ人が集まるゲームをやりながら、友達ができていったので、とてもうれしかったです。だから、ゲームが終わってしまった時や、月形町から帰る時には、別れづら

かっただけです。北海道に新しい友達ができただけです。すこいことだと思えます。新潟と北海道とは、船で18時間もかかるからです。だから、北海道に行けて本当によかったと思います。大人になつたら、また北海道に行つて、友達にもう一回会つてみたいなあと思います。

北海道の思い出
 5年2組 高橋藍子
 北海道に行った時、いちばん思い出に残ったことは、こうかん会です。最初に月形町の子たちがえんそうしてくださいました。それから、月形町の名所をバスで回りました。そのあとに、室内のグラウンドにみんなで集まってゲームをしました。とっても楽しかったです。わたしはこの時友達ができました。それは、たんじょう日の月ごとに集まるゲームでその子が同じだったので仲良くなりました。その夜も、やき肉を月形小学校の人たちといっしょにやりました。音頭も、おぼえきれなくて、むちゃくちゃおどっていました。でも最後の方に、だんだんわかっ



▲楽しく、おいしかったバーベキュー

てきました。月形町の子どもたちも、ひさしぶりにおどつたらしく、ちよつとめっちゃくちゃでした。その夜は、とても楽しかったです。

楽しかった交流会
 6年1組 立松 亮
 ぼくは、6年生になった時から、この交流会を楽しみにしていました。交流会で聴かせてもらった演奏がとて上手だったのでびっくりしました。ぼくもあんなふうになまく演奏できたらと思いました。名刺交換では、あまりたくさんの人と交換はできませんでしたが、交換した中には

とても楽しい名刺がありました。交換する時間もつとあつたらなと思えました。ゲームもとても楽しかったです。考えてくれた人に感謝しています。その中で、生まれた月ごとに集まるのがありました。9月はぼく1人かどきどきしましたがほかにも結構ういたので安心しました。夕食のバーベキューでは、みんなたくさん食べていました。ぼくも食べすぎるところい月形町の友達と食べました。月形町を出発する朝、みなさんが見送ってくれて、とてもうれしかったです。

楽しかった月形町
 6年2組 野内沙織
 私は、月形町に着く前は、月形町は月潟村と同じような所だとばかり思っていました。でも、月潟村よりもずっと広く、宿泊施設「はな工房」や温泉まであったので、すごくおどろきました。月形町内施設見学でも、月潟村にはない施設がたくさんありました。学校の中でおどろいたことは、学校の近くに、ゴルフ場があつたことでした。



▲答礼をする棚橋洋佑君

月形町の人との交流会では、友達ができるか心配でした。でも友達もできてとても良かったです。施設見学の後のスポーツ交流会でも、スポーツというより簡単なゲームで、すぐ覚えられたので、楽しく過ごせました。その他にも、夕食の集い、ぼんおどりと楽しいことばかりでした。また北海道に行くことがあれば、月形町にも、もう一度行きたいと思えます。



姉妹町村締結で交流深まる
 小学生ら120名が月形町へ
 市内の小学生が8月1日から5日間の日程で、北海道月形町を訪問し、5つの小学校児童と友好を深めました。交流会に参加したのは、5・6年生10名と皆川校長先生以下、引率の先生、村関係職員ら10名の総勢120名。交流会訪問は今回で2回目。

一行は、新潟港を出発し、約18時間後の2日早朝に小樽港で下船、そして3台のバスに分乗して、小樽運河、大倉山シャンツェ、時計台、雪印乳業工場、羊ヶ丘などを見学の後、船旅の疲れも見せず元気に月形町に到着しました。はな工房には津坂助役さんや鏡教育長さんら役場関係者の方々より出迎えを受け、又歓迎会場となった月形小学校では、当校の児童をはじめ、中和、札比内、昭栄、知来乙の全町5つの各小学校の校長先生や子供たちに暖かく迎えて頂きました。午後2時半過ぎから始まった歓迎の会、歓迎セレモニーでは、津坂助役さんや、月形小学校の船田美月さんから心暖まる歓迎のあいさつ、そして皆川校長先生、棚橋洋佑君



の答礼と続いた後、名刺交換が行われました。見知らぬ友達とのめぐりあいを心に秘め船中で想いを込めて書いた紹介者カードも、アツと言う間に無くなった子供、残った子供等様々で、緊張感もとれないまま交流会の幕が切つて落とされました。セレモニーの最後は、道内でも抜群の実力をもつ月形小学校のブラスアンサンブル3曲が披露され、余韻が残る中バスに戻つて移動。続いての町内施設見学では月形町の歴史が一目で分かる行刑資料館で社会勉強、また、

円山展望台からは町並みの様子を眺望、雄大な大自然の景観に驚かされました。その後、今回の交流会のメインであるスポーツ交流会に移り、会場は、宿泊施設の「はな工房」に隣接した土間づくりの建物で、面積約2,000㎡を有する全天候型の多目的アリーナで行われました。スポーツ交流は、レクリエーションを主体としたものでこの頃には相互の町村の子供たちも大いに盛り上がり、そのひとつに拍手の数で、その数のグループを作るゲームでは、最初は数も3つ4つと少しい時点にはそれぞれ学校仲間同志で組を作っていたが、拍手の数が多くなるにつれ、相互に呼びあつたりなどの光景も見られ、親睦が深められた様子でした。スポーツ交流の後は、皆楽公園で野外夕食の集いが始まり、父兄の方々から応援も得て準備されたバーベキューやおにぎりに舌鼓、前日まで寒空が続いていた天気も、この日ばかりはお月様も顔を出し両町村の交流発展を願うかの如く子供たちの顔を照らし続け、ファイナールの盆踊りで楽



しい交流会の幕を閉じました。翌朝、鈴木町長さんらに見送られ、来年は月潟村へ、との来村を要請し別れを告げました。一行は月形町を後にし、北海道の大自然と人、そして文化・産業にふれ、心豊かたたくましく成長することの願いを込め、北海道開拓村などを見学後、4日に「ニューはまなす」で帰途に着きました。子供たちにとつて、家族と離れ、遠く見知らぬ北海道での4泊5日の旅は、交流以外にも多くの貴重な体験を学んだことでしょう。この体験が村の発展に活かされることを期待します。